



2020年度東京平和委員会企画 第1回目は『東京大空襲・戦災資料センター』の見学会です。

センターは今年の6月にリニューアルオープンしました。より使いやすく！より見やすく、読みやすく！より分かりやすく！より深く！空襲体験を受け継ぎ、伝える展示になっているそうです。

会員の方、戦災資料センターに行きたいという方、予定がないから行ってもいいけどという方 どなたでも参加できます。お申込みお待ちしております。ぜひご参加ください。

今年はコロナ対策として、2時間の時間枠が設けられ 1回に最大30人までの入場制限があるそうです。センターに予約をしなければいけないので、11月中にお申込み下さい。よろしく願いいたします。

日 時 : 2020年12月5日(土) 14時30分～16時30分

集合場所 : 東京大空襲・戦災資料センター 入口付近 14時30分集合

東京都江東区北砂1丁目5-4

参加費 : 600円 (入館料・空襲体験のお話の謝礼)

交通案内 ▼JR「秋葉原駅」中央改札口を出て

左の2番バス乗場から、都バス
《葛西駅行き》(秋26)で35分、
「北砂1丁目」下車、徒歩2分

▼東京メトロ半蔵門線、都営新宿線
「住吉駅」B1出口から徒歩18分

※清洲橋通りの「岩井橋東詰め交差点」、
岩井橋クリニックの隣です



お申し込み先

東京平和委員会事務局

〒170-0005 豊島区南大塚2丁目33-10 東京労働会館5F

TEL 03-5927-1485 FAX 03-5927-1487 E-mail tokyohewaiinkai@peace-21.jp

全館リニューアル 6月完成

新型コロナウイルスの感染拡大で思わぬ足踏みをしてしまいましたが、多くの方々のご協力を得ながら進めてきました展示リニューアルがようやく完成いたしました。改めて皆さま方のご協力を深く感謝いたします。

今回のリニューアルでは二つのことを重視しました。一つは空襲体験者の方々、センターに日頃からご協力いただいているの方々、そして研究者の方々など、多くの方々の多様な意見をくみ上げながら、展示を完成させるということです。もう一つは、次の世代に体験をどのように伝えていくかということです。早乙女名誉館長は文字通りの戦争体験者、私は戦争体験者ではありませんが、両親や教師は戦争体験者です。自分自身は体験していないにしても、地域や家族の中に戦争の記憶が息づいていた世代です。

今大切なことは、両親も教師も戦争体験者ではない次の世代に、体験をどのようにして伝えていくかということでしょう。今回のリニューアルでは、伝えるためには何が必要かということに常に意識しながら、様々な新しい試みにチャレンジしてみました。そして、その中心になったのは若手研究者の皆さんです。多くの人々の様々な思いが込められた新しい展示を、どうぞご覧ください。

館長 吉田裕



東京大空襲・戦災資料センター

〒136-0073 東京都江東区北砂1丁目5-4

Tel 03-5857-5631 / Fax 03-5683-3326

Web <http://www.tokyo-sensai.net/>



より使いやすく！

- ・階段を広げ、バリアフリーにも対応。
- ・調べ物や談話のスペースをつくり、蔵書検索端末も設置。
- ・館内の映像機器も一新。

より見やすく、読みやすく！

- ・大きなコーナーごとにテーマカラーを設定、デザインを統一。
- ・解説やキャプションを読みやすく一新。
- ・英語訳を充実。解説の全訳に加え、展示品名も英訳。
- ・展示品を厳選。ひとつひとつをじっくりと。
- ・ところどころに大きな写真などを配置。展示にメリハリを。

より分かりやすく！

- ・体験者のお話でも使う被災地図を全面リニューアル。大きく、みやすく、情報も充実。
- ・防空活動をマネキンやレプリカで再現。視覚的に分かるように。
- ・質感や重量にこだわった焼夷弾の模型を新設。映像も組み合わせて分かりやすく。

より深く！—その他の新展示

- ・空襲の歴史年表・砂町の暮らしと学校
- ・犠牲者の名前と顔写真の展示・食糧難

空襲体験を受け継ぎ、伝える展示へ！

- ・東京大空襲のコーナーに、体験記・体験画などを使った「夜の体験」の展示が新登場。
- ・空襲犠牲者、朝鮮人被災者、戦災孤児などのコーナーにも個人の体験を展示。
- ・いくつかの展示品にQRコードが。そのモノについての体験者の語りが聞けるように